

平成27年度
予算審査
ハイライト

ふるさと寄附金大幅増

= 介護福祉士の支援事業を展開 =



大野晴美委員長

マイナンバー実施は
10月から番号を通知

総務費

久野委員 Ⅱ 防災倉庫の管理、除雪体制は。

小塩情報・防災課長 Ⅱ 近隣3カ所程度の自主防災組織等が管理、除雪を行っている。

堀江委員 Ⅱ 収納管理費で嘱託徴収員の予算が削られているが理由は。

宮原総務部長 Ⅱ コンビニ納付・口座振替が増え、臨戸徴収が減った。国保会計では3名分を措置。

榎本委員 Ⅱ 投票時間の終了を1時間繰り上げているが、投票率に影響はないか。

八鍬選管事務局長 Ⅱ 27カ所のうち13カ所で繰り上げた。アンケートなどから影響ないと判断。

平成27年度予算審査特別委員会が3月11日から18日までの5日間開催され、平成27年度一般会計ほか7つの各会計予算案と、予算に関連する15件の議案を審議しました。ここでは、主な質疑と答弁の概要を掲載します。

真田委員 Ⅱ 選挙無投票時の選挙公報の発行は。

八鍬選管事務局長 Ⅱ 総務省の見解から発行できないと判断。

企画費

久野委員 Ⅱ 男女共同参画のパンフ作成数と配付先、審議会委員の男女比は。

渡辺企画課長 Ⅱ 事業所向けに1千部作成、委員は男女半数ずつ。

印牧委員 Ⅱ ふるさと納税は特典競争の傾向にあり、本

報連携は29年から。



負けないよー（チェリングロードレース）

保健福祉費

守屋委員 Ⅱ 民営化された保育園に町はどう関わるのか。

古田保健福祉部長 Ⅱ 民間の保育園の園長を含めた会議を2か月に1回開催している。

印牧委員 Ⅱ 臨時給付金に係る事務費の内容は。

葛谷福祉課長 Ⅱ システム改修費、郵便料、振込手数料などである。

守屋委員 Ⅱ 特別生活介護費予算の算出根拠は。

葛谷福祉課長 Ⅱ 例年の申請数450件全てが該当となる

地域会館の老朽調査
非木造9施設で実施

ることを想定。

町民生活費

久野委員 Ⅱ 資源ごみの持ち去りと区別するため、集団回収団体に身分を証明する腕章等を作成しては。

吉田環境生活課長 Ⅱ 回収団体の意見を聞き検討したい。

真田委員 Ⅱ 地域会館の改修について設計段階で関係者への事前説明は。

岸本町民課長 Ⅱ 事前に町内会長等に図面を示して説明している。

印牧委員 Ⅱ 地域会館の老朽度調査と改修工事のスケジュールは。

岸本町民課長 Ⅱ 27年度は非木造9施設の老朽度調査。その後3年をめどに改修工事を予定している。

守屋委員 Ⅱ 地域会館の和室に低い椅子が必要では。

岸本町民課長 Ⅱ 地域からの要望も多いので整備を検討したい。

高瀬委員 Ⅱ ごみサポート収集事業費予算の内容は。

吉田環境生活課長 Ⅱ 事業に一定の成果があり、27年度は車を購入して事業を実施。

産業振興費

高瀬委員 温泉街再生事業の運営について、町が補助をして参画していくのか。

鈴木商工観光課長 運営は旅館協同組合が行う。町の補助は考えていない。

真田委員 国の食料需給率引下げについての見解は。

寺山町長 引き下げた背景は情報公開されておらず、見解を述べることはできない。

公営住宅通路の安全
焼き砂の配布を考慮

建設費

大浦委員 26年度の除雪へのクレーム件数と、教訓を次年度に生かす考えは。

下口谷土木課長 560件のクレームがあった。朝の通勤、通学に支障がないように行うなど、日々の教訓を生かしている。

平山委員 九線大和地区の現況調査は、現在実施中の地籍調査と関連しているか。

原都市計画課参事 地籍調査の実施は未定。ずれを確認

認し解決法を調査。

印牧委員 大規模建築物で耐震診断が必要な建物数は。

岩館建築住宅課長 対象は民間で2カ所、1カ所は診断済み。

久野委員 公営住宅通路の安全確保のため、焼き砂の配付はできないか。

田村建築住宅課参事 公営住宅の入居者や行政区の要望があれば考慮したい。

教育費

真田委員 サッカー場造成について、パークゴルフ協会、サッカー協会、体育協会の要望を最大限受け入れることが必要。

荒町教育長 三者合同の会議を開催して、合意を得られるよう努力し、予算執行を見送ることも視野に入れて進める。

印牧委員 文化財保護費を計上していない理由は。

早苗生涯学習課長 史跡標柱案内板設置が26年度で終了のため。

久野委員 教育を考える日 イメージソングを広く町民に周知できるようにCD化を。

青砥管理課長 CD化されており、広くアピールしていきたい。

青砥管理課長 CD化されており、広くアピールしていきたい。

印牧委員 27年度の償還額はどのように決まるのか。

高木副町長 償還台帳に基づいて予算計上している。

役場庁舎の耐震化
審議会の中で議論

歳入

印牧委員 地方消費税交付金が増になっているが、増税が影響しているのか。

高木副町長 配分税率が0.7%増になったため。

山本委員 27年度のふるさと寄附金の発信の仕方は。

高木副町長 特産品の宣伝だけでなく、使途を明示したい。

真田委員 地方交付税が減額となる理由は。

重松財政課長 全体の交付税額が0.8%減、基準財政需要額も減となるため。

久野委員 療養諸費が減額

となった要因は。

岸本町民課長 75歳で後期高齢に移行するため被保険者数の減が大きい。

高瀬委員 赤字解消には、国保税全体の底上げが必要。

高木副町長 税率改正が必要と考えている。

介護保険特別会計

久野委員 生きいきポイント事業の内容は。

松井高齢者福祉課長 町内の65歳以上が対象。ボランティア1時間1ポイントで100円、年間50ポイントを上限に換金できる計画。

守屋委員 生活支援コーディネーターの業務内容は。

松井高齢者福祉課長 事業所などが連携し福祉体制をつくるための調整を行う。

水道事業会計

高瀬委員 水利権の更新費用と支払い先は。

中野建設水道部次長 10年に1度更新を行い、595万円を国に支払う。

国保会計

守屋委員 療養諸費が減額

総括質疑

久野委員 道道133号線

の駒場市街地入り口を示す看板は、夜間は照明もなく見えない。改善策は。

佐藤広報広聴課長 北海道にライトをつけるよう要請。町では反射材をつける。

守屋委員 障がい者のショートステイ利用について、苦情などを把握しているか。

葛谷福祉課長 本人の希望に添わないことはあるかもしれないが苦情はきてない。

長沢委員 豊田小学校の閉校後の活用は。

大久保教育部長 地域で体育館を利用。校舎については未定。

真田委員 国は制度改正を頻繁に行うが、職員はその

解釈等に追われ、町民への姿勢が弱まっているのか。

寺山町長 制度を読み込んで町民に伝えることは職員

の努め。資質向上のため、研修を増やす。

高瀬委員 防災拠点として役場庁舎の耐震化は必要。

高木副町長 総合計画の見直しに伴い、審議会の中で議論していきたい。

大場委員 町民の声を聞き、現場目線、町民との対話をどう進めていくのか。

寺山町長 町民の意見や要望を聴き、最終的には町民の声を聴く最高の場である

議会に示していきたい。



新生活が楽しみ (ふれあい住宅歓迎会)